

# Port of Hachinohe

No. **26**  
NOV 2008

---Maritime & Trade Report---

●今号の主な記事

- 内航フィーダー航路増設
- 「八戸セミナー2008」開催報告
- 「ぱしふいっくびいなす」が八戸港へ寄港
- 八戸市海外経済協力員レポート
- 中国・韓国航路寄港地変更
- 八戸港の物流を支える人々

## 内航フィーダー航路増設

内航海運業の井本商運株式会社（井本隆之代表取締役社長、本社：神戸市）は、八戸港からの内貿コンテナ（海外への積み替えコンテナ含む）の増加に対応するため、従来の東京便に加えて横浜便を10月から増設しました。これにより、内航フィーダー航路は週2便（火曜日、土曜日）から週3便（火曜日、木曜日、土曜日）となりました。

井本商運株式会社の内航フィーダー航路は、平成18年3月に開設されており、以来順調に取扱コンテナが増加しております。

今回の内航フィーダー航路増設は、スーパー中枢港湾に指定されている「京浜港（東京港・横浜港）」へのコンテナサービスの拡充とともに、トランシップの機会の増加により荷主の皆様へのサービス拡大が期待されます。



内航船 「つるかぶと丸」

接続地	主な仕向先
横浜港	ヨーロッパ、北米、南米、アジア近海、
東京港	オーストラリア、ニュージーランド

### お問い合わせ先

井本商運（株）代理店  
八戸港湾運送（株）コンテナ事業部  
〒031-8608 八戸市大字河原木字海岸16-4  
TEL：0178-29-3177 FAX：0178-29-3252

# 「八戸セミナー2008」開催報告

去る7月23日(水)に、東京・経団連会館において「八戸セミナー2008」(主催：八戸市・八戸港国際物流拠点化推進協議会・八戸市企業誘致促進協議会)が開催されました。当セミナーは平成16年度から東京都内において、八戸市への企業立地や八戸港の取り扱い貨物の増大を働きかけることで、地域全体の活性化を図ることを目的に開催しております。

セミナーには、首都圏を中心に船会社をはじめ荷主や関係者の皆様約300人が出席し、小林眞八戸市長による八戸市の紹介に始まり、青森県県土整備部港湾空港課の大平恵一港湾振興グループリーダー(八戸港国際物流拠点化推進協議会事務局次長)から八戸港の概要を紹介いたしました。

このほか、セミナーでは東北大学大学院工学研究科の堀切川一男教授(八戸市出身・八戸特派大使)による講演が、「産学官連携による新しい地域産業の創出を目指して」と題して行われ、参加者の皆様から「今後の事業展開の参考になった」などの声が寄せられました。



小林眞市長の挨拶



八戸港紹介(青森県 大平GL)



堀切川教授による基調講演



企業関係者約300人の来場者

セミナー終了後の情報交換会では、八戸港振興協会の大矢卓会長による乾杯が行われ、来賓紹介では八戸港から各港への定期コンテナ航路やフェリー航路を運航している船会社の皆様が紹介されました。

この場をお借りしまして、当日ご来場いただいた皆様はじめ、ご支援とご協力を賜りました関係者の皆様にお礼申し上げます。

ご存知のとおり地域間競争はもとより、地方港の競争は日に日に激しさを増しております。今後も関係者の皆様と連絡を密にするとともに連携を図りながら、このようなセミナーを通じて八戸港をPRし、荷主や船会社の皆様にとって利用しやすい港と言っていただけるように取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしくお願ひします。

(八戸セミナー2008 事務局：八戸市産業振興部産業政策課)



八戸港振興協会 大矢会長による乾杯



アルバック東北(株) 小野社長による中締め



来賓紹介

# シンポジウム開催のお知らせ

八戸港の現状と課題を再認識するとともに、今後担うべき役割や目指すべき将来像について様々な視点から考えることを目的として、さらには、企業や多くの関係者と情報を共有するため下記のとおりシンポジウムを開催致しますので、お誘い合わせの上どうぞご参加ください。

●タイトル：「北東北経済を支える八戸港の将来像－港湾と国際物流の今後の課題を探る－」

●開催日時：平成20年11月29日（土）14：00～

●場 所：八戸グランドホテル

●基調講演：演題「地域経済の活性化と八戸港の役割」

講師 東北大学大学院教授 稲村 肇氏

●パネルディスカッション

テーマ「北東北経済を支える八戸港の将来像」

(コーディネーター) 東北大学大学院教授 稲村 肇氏

(パネリスト) 八戸工業大学教授 佐々木 幹夫氏

リサイクルポート推進協議会 村上 直美氏 (日鐵物流(株)鉄鋼企画管理部部長)

井本商運(株)代表取締役社長 井本 隆之氏

東北地方整備局副局長 岡田 光彦氏

●主 催：八戸港国際物流拠点化推進協議会、八戸港振興協会

●共 催：国土交通省八戸港湾・空港整備事務所、青森県、八戸市

お問い合わせ・申込み先

八戸市産業政策課  
TEL：0178-43-9244

## ストラドルキャリア出荷

八戸市の東北建機工業(株)が製造していた、コンテナ運搬用の大型トレーラー「ストラドルキャリア」が完成し、6月30日(月)、専用船に積み込まれて出荷されました。

八戸市の臨海部に立地している東北建機工業(株)は、その高い技術力等から、三菱重工業(株)の関連会社である菱重輸送機器エンジニアリング(株)より発注を受け、昨年12月から製造に取り組んできました。

完成したストラドルキャリアは、高さ10.8m、全長16.3m、重量60トンで、35トンまでのコンテナを運ぶことができます。

当日は、八太郎1号埠頭で約50名が出席して竣工内覧会が行われた後、大型重機の運搬専用船に積み込まれ、1時間半に及ぶ慎重な固定作業を経て、納入先である山口県徳山港に運ばれていきました。

八戸港のコンテナヤードでも活躍しているストラドルキャリアですが、地元での製造は初めてのことであり、今後の地元製造業界の活性化が期待されます。



出荷されるストラドルキャリア

## 「みなと博ランカイ」開催

7月27日（日）にポートアイランドを会場として、「みなと博ランカイ」が開催されました。NPO法人ACTYが中心となり、『協働で創り上げる新しい「みなとまち八戸」推進事業』の一環として実施されたもので、行政機関と民間が共通意識を持って役割分担を考え、みなとの賑わいを創出するという目的で行われました。

今年で5回目を迎えた会場は「湊いこい町八丁目」と名付けられ、昭和30年代の町並みをイメージしたブースが多数並びました。なつかしさの中で憩いを感じてもらおうというコンセプトの会場では、射的や輪投げなどの遊技場や、駄菓子コーナー、歌声喫茶など、子供たちが体験して楽しんで、大人の方にはなつかしさがこみ上げるような趣向が凝らされました。他にも使用済の天ぷら油を使った発電機でわた飴を作るなど、環境についてもアピールするコーナ

ーが設けられました。

会場中央のステージでは、八戸を中心に活動しているジャズバンドやフォークソングバンドなどが演奏を披露し、会場を盛り上げていました。

この日は、館鼻漁港で「湊ふるさとフェスタ」が、燕島海浜公園では「さめ浜まつり」が開催されており、ポートアイランドとの間でシャトル船とシャトルバスが運行されました。国土交通省の監督測量船「ほくと」の八戸港見学航海も実施され、シャトル船と共に家族連れに大変な人気でした。

会場には暗くなるまで多くの来場者が訪れ、港を中心とした八戸の魅力を感じてもらい、盛況のうちに終ることができました。



来場者でにぎわう会場



エコわた飴ブース

主催者

NPO法人ACTY  
TEL/FAX:0178-24-7670

## 「八戸港カッターレース大会」開催

8月30日（日）、八戸海洋少年団主催の「八戸港カッターレース大会」がポートアイランド第2船だまりを会場として開催されました。

カッターとは、大型船に搭載されるボートのことで、救命艇や連絡船などの役割があります。現在では動力が搭載されることが主流になりましたが、船員の訓練や、船に慣れ親しむためにオールによる手漕ぎが競技化され、全国の

主要な港湾で大会が開かれています。

今大会には、市内の事業所などから、同僚や友人で編成した22チーム、計176名が出場しました。競技は、カッターボートに艇長と、補助員を含む7名の計8名が乗り込んで、6名がオールを漕ぐ形で行われました。コースは200m先で折り返す往復400mで、2チームずつでタイムを競います。各チームは、スタートとともに大きな掛け声を出しながらオールの動きを合わせ、懸命にゴールを目指しました。中にはコースを逸れてしまうボートもあり、岸壁に集まった観客から大きな声援が飛んでいました。

当日は小雨が降り続くあいにくの空模様となりましたが、多くの参加者が力いっぱいレースを楽しんだことで、これからも海を身近に感じてもらうイベントとして定着していくことを期待しています。



力いっぱいオールを漕ぐ参加者

主催者

八戸海洋少年団  
TEL:0178-47-1651  
FAX:0178-47-1881  
(八戸市ボランティア連絡協議会内)

## ～八戸港の新たな魅力創出に向けて～ 「ばしふいっくびいなす」が八戸港へ寄港

8月30日(土)、八戸港に日本クルーズ客船(株)の「ばしふいっくびいなす」(26,561トン)が寄港しました。

今回のクルーズは、「日本一周探訪の旅～日本再発見の旅」神戸港発着9泊10日の行程の中での寄港となりましたが、同船の八戸港への寄港は平成15年10月以来、5年ぶりとなります。

当日は、濃い朝もやの中、タグボートに先導された白い船体が7時50分に八太郎4号ふ頭P岸壁に接岸しました。その後、尾形船長・藤村機関長・阿部ホテルマネージャーに出席していただき入港セレモニーが行われました。小林市長から歓迎の挨拶、入港記念品として八戸地方の郷土芸能「えんぶり」彫金の壁掛けやイカ墨焼酎等が贈られました。

また、乗客の皆様は、下船の準備が整い次第、次々とオプショナルツアーへ出発していきました。これまでのツアーは、奥入瀬溪流や十和田湖へのコースが大半でしたが、今回は、初めて種差海岸や南郷区等の観光地を巡る八戸ならではのツアーも企画されました。種差海岸では、地引き

網の体験や遊歩道を散策したり、南郷区ではそば打ち体験と、地元の人達と交流しながら八戸の豊かな自然と食を満喫していただいたようです。

また、八太郎P岸壁では、普段は、鉱石、紙パルプ等の貨物の荷役が行われており、フェンスによって立ち入りが制限されていますが、この日は多くの市民がクルーズ船をひと目見ようと岸壁に訪れ活気づきました。岸壁に用意された12張のテントでは、観光案内の他、八戸前沖サバを使った「サバだしラーメン」やにんにくなどの地元農産品の販売等も行われ、乗客の皆さんはもちろん乗組員の方からも好評でした。

さらに、午前10時から、市民から募集した60名を対象とした船内の見学が行われ、洋上の楽園といわれる豪華な船内を堪能しました。

夕方からは小雨が降り始めましたが、多くのお客様が、傘を手にして最後まで見送りのセレモニーを見てくださいました。出港セレモニーの後、午後6時に約500人の市民が見送る中、次の寄港地である小樽港へ向け出発しました。

### 「ばしふいっくびいなす」

1998年にデビューし、全長183.4m、全幅25m、総トン数26,561トンと国内のクルーズ船では、2番目の大きさとなっています。238の客室に加えレストラン・ラウンジやスポーツ・リラクゼーション施設が充実しています。



出港を見送る子供たち

八戸市では、観光振興策のひとつとして第5次総合計画の中で大型客船の誘致事業に取り組んでおり、大型客船が寄港することにより、八戸市の持つ魅力や可能性をPRし、より多くの方々に当市を訪れていただくようにしていきたいと考えております。今回は、取り組みを始めてから第1号の寄港となりましたが、今後も継続的に寄港していただくよう誘致活動に取り組んで参ります。

また、これまでの歓迎行事には市民の参加が殆どありませんでしたが、今回のように市民の皆様も参加していただき一緒に盛り上げていきたいと考えております。

### お問い合わせ先

八戸市産業振興部観光課  
TEL : 0178-46-4040



(株)八戸港貿易センターは、世界に開かれたみなと八戸港と私達に深く係わる貿易をもっとよく知っていただくために様々な活動を行っております。ここでは貿易に関する基本的なQ&Aをご紹介します。

### Q

農林水産物を輸出する場合、必要な手続きは？

### A

現在、農林水産省を中心に、品質の良い日本の農林水産物を積極的に輸出していくとする取組が進められています。農林水産物と一口に言っても、種類は様々で、輸出に際して求められる手続きも多岐にわたります。

水産物であれば、まず衛生証明書と施設の認定が必要です。この場合の施設とは、加工を行う工場のほか、原料の保管倉庫等、出荷過程の各施設も含まれます。衛生証明書の発行と施設の認定は、各都道府県の衛生部局が行います。

食肉は、衛生証明書と食肉処理施設の認定が必要ですが、他にも動物検疫所が発行する輸出検疫証明書が必要になります。

野菜や果物などの農産物は、その種類や相手国によって、衛生証明や施設認定の他に、遺伝子組換えの有無や、使用した農薬の証明などを求められたり、商工会議所が発行する原産地証明が必要になる場合もあります。

それぞれの証明書は、国レベルの協議で決められたもので、相手国によって内容は異なります。また、病気や害虫を予防する観点から、様々な条件がその都度見直されることも多いので、農林水産省や防疫当局が出している最新情報を確認することをお勧めします。

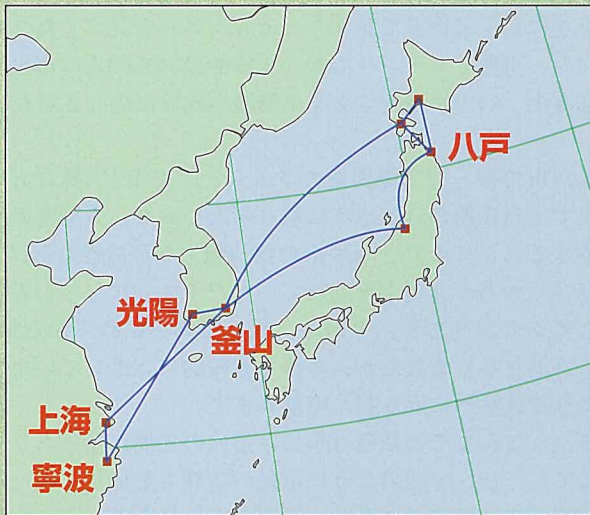
## 中国・韓国航路寄港地変更

八戸港の中国・韓国航路を運航する南星海運株式会社では、8月から航路を一部変更し、上海への直接寄港が可能となりました。

これにより八戸港から上海までの到達日数が、2日短縮され7日となりました。

上海は、コンテナ取扱量において、同航路の上位を占める主要な港です。上海への直接寄港により、更なる貨物取扱量の増加が期待されます。

現在、同航路は、上海、寧波、大連、青島への直行便サービスに加え、香港、天津新港などへも、自社フィーダー航路によりスムーズな輸送を行っておりますので、是非ご利用ください。



水曜日便

### 平成19年八戸港コンテナ取扱数量（中国／韓国航路）

単位：TEU

順位	貿易相手港	コンテナ取扱量
1	釜山（韓国）	1,937
2	天津新港（中国）	1,449
3	上海（中国）	1,297
4	青島（中国）	851
5	大連（中国）	817

中国・韓国航路 寄港地	
月曜日便	釜山～新潟～苫小牧～八戸～富山新港～ 釜山～光陽～大連～青島～釜山
水曜日便	釜山～新潟～苫小牧～八戸～函館～ 釜山～光陽～寧波～上海～釜山

### お問い合わせ先

南星海運(株) 代理店 八戸港湾運送(株)  
コンテナ事業部 コンテナ営業課  
〒031-8608 八戸市河原木字海岸16-4  
TEL 0178-29-3177 FAX 0178-29-3252

## 八戸港コンテナヤード拡張

青森県が、7月から行っていた八戸港多目的国際物流ターミナルのコンテナヤード拡張工事が完了し、10月1日から供用を開始しました。同ターミナルは、八太郎2号埠頭内で平成13年4月に供用を開始し、北東北のコンテナ物流の拠点として活用されていますが、ここ数年はコンテナ貨物量の増大に伴い、手狭になっていたものです。

拡張工事は、従来のヤードの北西側の岸壁で行われ、これにより面積は約5.9haから約6.6haになりました。コンテナの保管量は約400本（20ftコンテナ換算）増え、これまでより3割アップすることになります。

拡張部分は主に空コンテナの置場として活用し、荷捌きをより迅速に効率よく行えるようにすることで、今後の貨物量の増加につながることを期待されます。



手前フェンスの奥が拡張部分

# 八戸市海外経済協力員レポート

八戸市は、平成20年11月現在、海外在住（天津、香港、シンガポール、マニラ、タコマ）の5名に「八戸市海外経済協力員」を委嘱し、現地の出来事や経済状況をレポートしていただいております。

また、八戸地域の企業等が協力員の在住都市を訪問する際には、協力員に現地事情の説明等をしていただけますので、ご希望の方は八戸市産業振興部産業政策課（TEL0178-43-9244）までご連絡ください。

（なお、海外経済協力員の日程等の都合により、対応できない場合もありますので、予めご了承ください。）

REPORT

## 香港レポート



ANDES Hong Kong Co.Ltd  
(安天世(香港)有限公司)  
鈴木 敏信氏

八戸市民の皆様、こんにちは。香港協力員の鈴木です。今年6月に香港へ赴任し、現在何とか生活に慣れ始めたところです。まだ香港をレポートできるほどの知識はないのですが、今回はこちらでよく目にする「日式」について触れてみたいと思います。

当地のショッピングモールなどでは、各国の名産品を扱う物産展などがよく行われますが、日本産品の陳列も多く見かけます。こちらに来て感じたのは、香港人はMADE in JAPAN、すなわち「日式」を信頼し人気があるということです。

連休中、当社の事務所の女性も北海道に一週間家族旅行に出かけましたし、本屋さんの旅行コーナーを覗くと、東京、北海道の旅行案内が多く目に付きました。あとで調べたら、香港人の旅行先の1位は東京、2位 北海道、3位 パリだそうです。

駅の広告などにも日本製であることを強調している例をよく見かけます。私が毎日買い物をするスーパーでも日本食品コーナーがあり、味噌、納豆、豆腐、カマボコ、麺類などが並んでおります。このスーパーでは日本人はまだ見かけたことがないので、香港人が買っていくものと思われます。

リングも1個500円と高価ですが、いつも並んでおります。

また日本産の米は2kgでHK\$139（=2,100円）と中国産の7倍もしますが、売れるから陳列しているのでしょう。

この米がもっと安く買えたらないつも思っております。こちらの日系デパート、そごうやジャスコ等では、日本各地の都市が物産展を行っているのをよく見かけます。八戸も物産展を通して食に貪欲な680万人の香港人の胃袋を狙ってみるのも面白いのではないかと感じました。

▼香港市内の売場



マライオンと大観覧車▼



REPORT

## シンガポールレポート



柴田 真理氏

<変わりゆくシンガポール>

美しい国で知られるシンガポール、最近では観光やイベントにとっても力を入れています。3月には、故 黒川紀章氏が設計した世界最大の大観覧車「シンガポールフライヤー」が開業しました。観覧車の高さは165m、28個あるカプセルは空調完備で、28名まで乗ることができる大型のものです。また、9月26日にはF1史上初のナイトレースである「F1シンガポールグランプリ」が市街地コースで開催されました。今後は、リゾート開発が進むセントーサ島にカジノやユニバーサルスタジオを作る予定などもあり、この先観光地として大きな注目を浴びるものと思われまます。

そんなシンガポールも私が住み始めた10数年前は、マレーシア人、インド人等それぞれの民族衣装を身につけた人々が街は賑やかでしたが、ルイ・ヴィトン、シャネルといった高級ブティックのお客さんはほとんどが日本人でした。店員も日本語を勉強して上手に話していたものです。しかし、先日高島屋のルイ・ヴィトンのドアの外に長蛇の列ができていたので「セール？」と思い聞いてみると、お客さんが多いため入場制限をしているといひます。並んでいる人は全てローカルの人なのです。

シンガポールは、2007年の国民一人当たりのGDPが日本を抜いてアジア1位になったと報道されていましたが、好景気だという事は日常の光景の中でも感じられます。街では民族衣装を見かけなくなり、日系デパートの伊勢丹では以前よりもローカルの人がとても多く買い物をしています。日系の高級スーパーマーケットのMEIDI-YAでは、日本の豆腐や野菜等、ローカルの市場の2倍の値段で売られているものをカートいっぱいに入れていたシンガポール人をよく見掛けるようになりました。魚売り場には八戸産のしめさばや(株)ヤマヨの塩辛などが置いてあります。私が買っているのを見たシンガポール人から、「これは何ですか?」「どうやって食べますか?」と質問されたので「そのまま食べても美味しいし、キャベツと炒めても美味しいです」と答えると「サンキュー」と言って買っていました。シンガポールの人たちの生活が豊かになって、八戸の食材も食べてもらえるようになったことはとても素晴らしいことです。

# 八戸港の貿易概況報告（平成20年1月～8月）

〒039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階  
 日本貿易振興機構（JETRO）八戸情報デスク TEL:0178-72-1850 FAX:0178-72-1503

## <概況>

輸出額では、飼料・フェロニッケルの不調もあったが、鉄鋼製品・電気機器・船舶等の好調によりやや増加（前年比104.3%）。主な仕向国としては、韓国・パナマ・ベトナムなどが挙げられる。輸入額では、木材・一般機械などの不調もあったが、肥料・コークス・飼料等の好調によりやや増加（前年比103.2%）。主な仕出国としては、アメリカ・中国・カナダなどが挙げられる。またコンテナ貨物通関本数は、中国・韓国航路を中心に輸出・輸入合計は前年比104.9%とやや増加。

## ■平成20年1月～8月の貿易額（単位：千円）

※資料：八戸税関支署発表の貿易統計  
 （八戸港・むつ小川原港・久慈港）から抜粋

### 輸 出

品名	単位	今年累計		対前年比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
船 舶	NO	8	23,913,100	266.7%	236.8%
フェロニッケル	MT	74,786	38,298,205	101.9%	61.3%
有機化学品	KG	1,265,280	435,837	153.0%	156.4%
紙 製 品	MT	1,984	170,596	146.4%	137.0%
一 般 機 械			27,103,326		188.1%
鉄 鋼 製 品	MT	38,967	2,569,209	25140.0%	3073.1%
飼 料	MT	1,685	95,898	30.1%	27.6%
魚 介 類	MT	7,653	1,009,089	87.0%	86.4%
鉄 鋼 く ず	KG	17,626,804	1,151,784	66.0%	91.3%
電 気 機 器			257,509		533.4%
そ の 他	—		1,658,377		68.1%
合 計	—		96,662,930		104.3%

### ●コンテナ貨物通関額（ ）内は対前年比

輸 出	488億8993万円（98.9%）
輸 入	156億2170万円（105.5%）
合 計	645億1163万円（100.4%）

### ●コンテナ貨物通関本数（ ）内は対前年比

輸 出	5,872TEU（110.4%）
輸 入	9,102TEU（101.5%）
合 計	14,974TEU（104.9%）

### 輸 入

品名	単位	今年累計		対前年比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
ウッドチップ	MT	533,650	11,274,934	98.0%	98.9%
とうもろこし	MT	580,794	20,281,904	101.1%	128.0%
ニッケル鉱	MT	1,361,969	17,192,260	86.2%	66.3%
木 材	CM	12,769	401,735	40.5%	38.5%
亜鉛鉱	MT	106,358	8,487,110	184.5%	101.1%
亜鉛さい	MT	11,692	801,545	106.3%	49.9%
大豆粕	MT	203,937	11,228,819	123.1%	179.2%
魚介類	MT	1,133,129	4,183,509	8699.6%	112.4%
飼 料	MT	68,139	1,564,473	289.4%	198.6%
石 炭	MT	543,218	7,367,710	90.6%	126.1%
こうりゃん	MT	70,362	2,496,180	70.8%	90.5%
ウッドパルプ	MT	14,891	1,167,957	85.4%	78.2%
カオリン	MT	57,653	1,569,288	80.9%	83.8%
肥 料	MT	42,539	2,557,514	381.7%	754.6%
コークス等	MT	72,509	3,903,130	153.9%	266.4%
鉛 鉱	MT	48,880	8,264,506	181.9%	193.6%
金属製品	MT	476,471	1,028,564	10968.5%	96.0%
その他穀物	MT	787	116,198	11.0%	63.5%
糖 蜜	MT	4,980	73,881	101.9%	97.4%
一 般 機 械			689,244		49.9%
そ の 他	—		15,324,486		74.9%
合 計	—		119,974,947		103.2%

## ロシア極東における食品市場の 現状と日本食品参入の可能性

日本貿易振興機構（JETRO）  
 青森貿易情報センター  
 TEL 017-734-2575  
 FAX 017-773-2877  
 〒030-0802 青森市本町1-2-15 青森本町第一生命ビル5階

### <日本食品に大きな信頼感>

現地の日本人関係者によると、日本の食品がロシア極東地域で多く出回るようになったのは2003年頃からのことです。ちょうどこの年、青森公立大学がロシア極東への県産リンゴ輸出プロジェクトで成功を収めました。日本から同地域への食品輸出は年々拡大を続け、今ではウラジオストク市を中心にコシヒカリや、ジャガイモ、ニンジンといった生鮮野菜まで現地の店頭と並んでいます。小売価格は例えばリンゴであれば、1kgおよそ400ルーブル（約1,700円）で、中国産の10倍もしますが売行きは良いといえます。コシヒカリも日本の4～5倍の価格で売られています。

ロシア極東において日本の食品は非常に高い評価を得ています。小売店向けに日本の食品を取扱う企業・ダイイチのドミトリ・ノヴゴロツェフ代表取締役は、拠点を置いているウラジオストク市を「消費者が日本製品の品質をよく理解している地域」と評価しています。ロシア極東の船員や学生、中古ビジネスの関係者が日本の味を本国に伝え、需要を生んでいるといえます。

ハバロフスク市で日本の食品、生活雑貨の委託販売を手掛けるセンコン・ロシア（宮城県のセンコン物流のロシア現地法人）の佐野淳社長は、値段が高くて日本の食品が売れる理由について、「少子化が進んでいることもあり、子供の健康のために安全なものを食べさせたいという消費者の意識が高くなっていく」と説明しています。同氏によれば、例えば喉に良くないという理由から真夏であっても氷入りの水を飲まないなど、ロシア人には食の安全や健康に気を使う面があり、日本の食品が受け入れられる大きな要因ともなっています。



# 八戸港の物流を支える人々

～検数・鑑定・検量事業～



輸出入される貨物は、その運搬過程において様々なルートを通り、多くの業者の手を介して移動します。その際、貨物の管理権も同時に移動しますが、その貨物に対する責任の所在を明らかにするために、貨物の数量や容積、品名、損傷の有無などを点検し、これを証明することが必要になります。この作業は、港湾運送事業法により定められており、検数事業、鑑定事業、検量事業に分けられています。

検数事業は、貨物の仕訳や数量を点検し、受渡しを証明します。コンテナ貨物であれば、コンテナの状態や収納状態の検査、封印の確認などを行います。貿易貨物は、本船受渡しに前後して税関検査が行われますが、貨物の個々の数量については、検数の結果をもって税関検査に代えており、税関業務の補助的役割を果たしています。

検数を行う人を「検数人 (Checker)」または「タリー・マン (Tally man)」と呼びます。

検数業者は、(社)日本貨物検数協会と(社)全日本検数協会があり、八戸港でも活動しています。

鑑定事業とは、貨物の積付や損害に関する証明・調査・鑑定をするものです。船積みの際の積付の良否は、貨物自体の損害だけでなく、船の転覆・火災などの重大事故の原因となる場合もあります。貨物の性状に合わせて、安全な航海ができるような積付をされているか検査することで、事故や貨物への損害が発生しても積付の落ち度ではないことが証明できるのです。

検量事業は、船積貨物の容積または重量の計算または証明を行う事業で、鑑定と合わせて「検定」と呼ばれています。八戸港での業者は(社)日本海事検定協会と(財)日本穀物検定協会があります。

検定は、近年の物流革新に対応して、その業務範囲は広範で複雑なものとなっていますが、主要な業務として以下が挙げられます。

## 1. 貨物状態検査

貨物の状態が売買契約に沿っているか、また責任の所在が移る際の状態を確認します。

## 2. 喫水検査

鉱石類や鉄くず、土砂など、ばら積み貨物の取引量は、船舶への貨物積み込み前後の喫水（浮き沈み）変化を読み取って算出することが国際的な商習慣になっています。検査員は公正な第三者として喫水を読み取り、船の排水量から貨物の重量を算出します。

## 3. 倉口検査

船舶が目的港で揚荷する際、船倉内の貨物の状態を確認し、万一貨物に損害が発見された場合直ちに関係者にその旨を通知します。また、その場で損害貨物の処置について適切かつ迅速な対応をアドバイスします。この検査で発行される報告書（サーベイレポート）は、貨物が正品として到着した場合にも受渡し時の状況を立証するものとして重要です。

## 4. 貨物損害検査

貨物に損害または不具合が発生した場合に、その程度や原因を調査し、補償を求める相手特定しなければなりません。出荷元の責任なのか、保険を適用するのか、いずれの手続きでも第三者の発行する貨物損害検査報告書が重要な役割を担います。



船積検量



貨物損害検査

公正な立場で行われる検数・検定業務は、世界中を貨物が行き来する上で、安全性を確保し、なおかつ確実な受渡しを実現する基礎となる重要な業務なのです。

画像提供

社団法人日本海事検定協会 八戸事業所  
TEL:0178-44-4110

	コンテナ航路	船社名	集荷代理店	寄港間隔	主な寄港地
外航	東南アジア航路	PIL	八戸通運	1便/週	[寄港地] 台湾(基隆、高雄) [接続地] 東南アジア全域、中国、豪州、欧州、南米、アフリカ、他
	中国・韓国航路	南星海運(株)	八戸港湾運送	2便/週	[寄港地] 韓国(釜山、光陽)、中国(上海、寧波、大連、青島) [接続地] 中国、ベトナム、欧州、北米、南米、豪州、他
	北米航路	WSL	八戸港湾運送	1便/月	[寄港地] アメリカ(シアトル)、カナダ(バンクーバー)
内航	内航フィーダー航路	(株)横浜コンテナライン	八戸通運	1便/週	[寄港地] 横浜 [接続地] 世界各地
		井本商運(株)	八戸港湾運送	2便/週	[寄港地] 東京・横浜 [接続地] 世界各地

PIL: Pacific International Lines (Singapore) WSL: Westwood Shipping Lines (U.S.A)

主な寄港地～八戸港の所要日数(最短)

寄港地	所要日数(日)	
	輸出	輸入
釜山(韓国)	3	4
光陽(韓国)	4	5
蔚山(韓国)	5	8
基隆(台湾)	7	7
高雄(台湾)	8	6
香港(中国)	11	15
大連(中国)	6	8
青島(中国)	7	7
上海(中国)	7	7
天津新港(中国)	8	9
寧波(中国)	6	8
蛇口(中国)	14	13
シンガポール	19	16
ジャカルタ(インドネシア)	27	21
バンコク(タイ)	22	23
レムチャバン(タイ)	23	21
マニラ(フィリピン)	27	24
ホーチミン(ベトナム)	26	20
ハイフォン(ベトナム)	10	12
ロングビーチ(米国西岸)	16	18
シアトル(米国西岸)	21	13
チャールストン(米国東岸)	30	23
ニューヨーク(米国東岸)	29	22
バンクーバー(カナダ)	23	13
ブリスベン(オーストラリア)	31	29
オークランド(ニュージーランド)	40	38
サウサンプトン(イギリス)	29	35
ルアーブル(フランス)	30	35
ブレーメルハーフェン(ドイツ)	32	35
ハンブルグ(ドイツ)	43	44
ロッテルダム(オランダ)	41	46
アントワープ(ベルギー)	45	42

海上コンテナ輸送の御用命は「八戸港国際物流拠点化推進協議会」加盟の各社へ

八戸通運株式会社(海運営業所)	TEL:0178-29-0202	FAX:0178-20-3281
八戸港湾運送株式会社	TEL:0178-29-3177	FAX:0178-29-3119
新丸港運株式会社	TEL:0178-20-2321	FAX:0178-20-2353
八戸運輸倉庫株式会社	TEL:0178-28-2401	FAX:0178-28-6976
三八五流通株式会社(八戸区域事業所)	TEL:0178-52-7755	FAX:0178-52-7751
日本通運株式会社八戸支店	TEL:0178-27-3311	FAX:0178-27-5520
ナラサキスタックス株式会社八戸支店	TEL:0178-20-1651	FAX:0178-20-2444
青森県・八戸市・八戸商工会議所・八戸港振興協会 株式会社青森銀行・株式会社みちのく銀行・八戸信用金庫		



今回は、いま行っている八太郎大橋の耐震補強工事についてご紹介します。



八太郎大橋と工専用仮橋

八太郎大橋は昭和55年に完成した、馬淵川の一番下流にかかるとる長さ421mの橋で、港湾貨物の輸送に重要な役割をはたしています。

平成7年に発生した兵庫県南部地震により、橋の耐震設計基準が見直されたことから、八太郎大橋の橋脚(きょうきゃく)を補強するものです。

補強の大まかな手順は以下のとおりです。

まず川岸から橋脚まで工専用の仮橋を造ります。次に橋脚のまわりを鋼矢板で囲い、その中の水をポンプでかき出し、根元の土を掘削します。最後に鉄筋・コンクリートを打ち込み、橋脚を太くします。

これまでに6基ある橋脚のうち、上流から見て左側の2基と右側の1基の工事が終わりました。これから順番に工事を行い、大地震がきても安全な橋になるように整備を進めてまいります。

八戸港管理所 TEL:0178-28-2105 FAX:0178-20-4746

編集後記

本誌でご紹介した八戸セミナーを開催した夜、7月24日未明に岩手県沿岸北部地震が発生し、八戸市では震度6弱を記録しました。深夜の発生であったこともあり大きな被害が心配されましたが、震度のわりに被害は少なかったと言えるでしょう。ただ、市内でも地域によって揺れの違いは大きかったらしく、食器もほとんど壊れなかったというところもあれば、家具が倒れるなどして、数日の間片付けに追われた家庭もあったようです。

今年は、この一ヶ月前に岩手・宮城内陸地震があり、大きな被害をもたらしましたが、大きいもので記憶に新しいところでは、平成6年に三陸はるか沖地震があり、八戸は震度6でした。この時は、水道・ガス・電気などインフラに大きな被害が出て、日常生活にも苦勞したことを思い出します。

震度1や2程度の地震は時々発生するため、地元の人は地震慣れしていますが、それでも大きな揺れの場合は、慌ててしまいます。今回の地震も、暗い中で慌てて動いて転んだり、割れた食器等で足を切ったというケースも多かったようです。地震列島と言われる日本、どこにいつ起きるかわからない災害に備えて、日頃から準備や心構えをしっかりしておくことをお勧めします。



八戸港国際物流拠点化推進協議会 Hachinohe Port Promotion Commission

〒031-8686青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市産業振興部産業政策課内

TEL:0178-43-9244 FAX:0178-47-5687 e-mail: hppc@hi-net.ne.jp www.hi-net.ne.jp/~hppc

(株)八戸港貿易センター Hachinohe Port Trade Center Co., Ltd.

〒039-1162青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階

TEL:0178-72-1505 FAX:0178-72-1503 e-mail: mail@hptc.co.jp www.hptc.co.jp